

## 平成 31 年度公募要領における前年度公募要領からの主な変更点

国立研究開発法人 科学技術振興機構  
国際部 SATREPS グループ

### 1. 制度に関すること

(1) 昨年度と比較して、提案受付期間を長期間確保しました。

- ・ODA 要請書締切 11 月 2 日(金)中 ※昨年度より 2.5 週後ろ倒し
- ・日本側研究提案締切 11 月 12 日(月)正午 ※昨年度より 2 週後ろ倒し

(3,12,13 ページ)

(2) 研究領域の説明を更新しました。主な変更箇所は以下のとおりです。

- ・研究領域②「低炭素社会の実現に向けた先進的エネルギーシステムに関する研究」について

背景および募集対象とする研究課題の例を一部変更しました。

- ・研究領域④「持続可能な社会を支える防災・減災に関する研究」について  
募集対象とする研究課題の例に「精緻で現実的な災害予測の確立及び効果的な復興の実現などを目指した、自然科学と人文・社会科学領域のアプローチを融合させた防災・減災・復興のための研究」を追加し、その他も一部変更しました。

(16～20 ページ)

(3) 選考の観点【両国の実施体制】に、「相手国側研究機関が他のプロジェクトに過剰な労力を取られず、実施体制が確保できること」を追加しました。(20 ページ)

(4) 留意事項に、「後発開発途上国では研究活動の持続性を確保するため、JICA 等の技術協力や研究提案者による SATREPS 事業終了後の活動計画など、中長期的な支援が必要な場合が多くあります。そこで、後発開発途上国を対象とした提案では、その提案時において中長期的支援の計画が存在することが望まれます」と留意点を追加しました。また、後発開発途上国の国名を明記しました。(21 ページ)

### 2. 対象となる国

(1) 前回のリストに、チリ共和国を追加しました。

(2) 「スワジランド王国」の国名が「エスワティニ王国」に変更されました。(77 ページ)

### 3. 提案書様式

主な変更箇所は以下のとおりです。過去年度の様式を使わないよう、ご注意ください。

#### (1) 様式 2 研究課題構想

従前の項目をわかりやすく再構成しました。社会実装については、集約して記載いただくように新たに項目を設けました。

・H30 年度

1.背景 2.目的 3.目標(成果目標シート含む) 4.研究計画 5.研究基盤

・H31 年度

1.背景 2.成果目標シート 3.目的(成果目標シートの上位目標)

4.目標(成果目標シートのプロジェクト目標) 5.社会実装 6.研究計画

7.研究基盤

(81～85 ページ)

(2) 昨年度の様式 7(研究代表者及び研究代表機関事務担当者連絡先)を様式 3に統合し、様式 4～6 の並び順を変更しました。(86～95 ページ)

#### (3) 様式 8 企業等の構想

企業内部の調整状況や組織としての関わり方を確認するため、代表者印、具体的スケジュール及び資金計画の記述を追加しました。(97 ページ)

#### (4) 様式 9 提案に当たっての調整状況の確認

昨年度の項目 1～6(相手国との調整状況)および項目 11(研究倫理 e ラーニング受講)を削除しました。(98～101 ページ)

### 4. その他

(1) 選考にあたって排除する利害関係者の定義を明記しました。(23 ページ)

(2) 採択後に作成いただくデータマネジメントプランについて追加しました。(64 ページ)

(3) Q&A 相手国私立大学の参画について追加しました。(75 ページ)

以 上